

東地申第1号

8月3日 第1回交渉—その1

## 「JR東労組東京地本第34回定期大会発言」に基づく申し入れ

冒頭、申1号交渉に臨むにあたり基本的考え方を述べる!

### 1. 労使関係の基本的立場について

労働組合は、組合員・家族の利益を守ることを基本にしており、双方立場の違いはあるが企業の価値を高めていく考えだ。私たちは、経営に対するチェック機能を強化していく考えだ。そして、労働協約第1条に記されている「信義誠実」の原則に則り、何事にも「是々非々の立場」で経営側と向き合い、労使関係をつくっていききたい。

### 2. 申1号の位置づけについて

組合の最高機関の決議決定の場での発言を集約した申1号交渉の要求内容は非常に重いものだ。東京地本は、要求実現に向けて全力を尽くしていく。また、組織率9割を超える責任組合の組合員の声は、経営側も社員の声と重く受け止めて、様々な視点から深く掘り下げて議論し、よりよい方向を見出すよう強く要請する。

### 3. JR発足30年を踏まえ、新たな30年の飛躍に向けて

JR東日本の将来は、現在の私たちの努力に規定される。2015年・2016年の東京支社の経営計画は「足を固める」「原点を忘れない」の表題が記されているが、「安全が最大の使命」であることが原点であり、人を活かすことが人材育成であることを共有し新たな30年を創造していききたい。そのために真摯な討論を求めます。

## 会社の認識

1. 企業経営を進めるにあたり、社員・株主・取引先はステークホルダーとしてどれか一つ考えないのではなく、守るべき対象であり、成長していかななくてはならない。社員の利益を願うことは共通している。会社としても信義誠実、是々非々の議論で乗り越えていきたい。
2. 大会発言を集約し、組織率9割の組合員の声に基づく課題について、議論で乗り越えていけると思う。掘り下げて議論することは変わるものではない。
3. 会社として、周りの環境、社会の環境が変わる中で何もしない訳ではない。会社発足の原点を忘れてはいけない。安全が最大の使命であることは一転の曇りはなく、変わることはない。競争力ある鉄道会社をめざし、社員の能力を引き出し伸ばしていくことが重要だ。申1号交渉において真摯に向き合っていきたい。

1. 「労使共同宣言」「東京労使宣言2002」を遵守し、労使対等の原則に基づき、これまでの労使関係を踏まえて、信義・誠実に議論し、労使で人間尊重、安全・現場第一主義の職場風土の醸成に努めること。また、施策において議事録確認や団体交渉での議論経過を守り、施策に関する確認メモ（平成26年6月26日締結）を遵守すること。

**会社回答** 「労使共同宣言」及び「東京労使宣言2002」の内容は承知しており、これらに加え、これまでの交渉経過や本社・本部間の「施策実施に関する確認メモ」も踏まえ、これまでと同様に「労使間の取扱いに関する協約（平成27年10月1日締結）」に則り真摯に議論していく考えである。

**昨年の中1号交渉での交渉経過を守っていく上での回答、「施策実施に関する確認メモ」も踏まえ、これまでと同様に「労使間の取扱いに関する協約」の則り真摯に議論していく考えは変わらないことを確認!**

## 主な議論内容

組合 京浜施策の目的は、車両と乗務員運用を合わせることで安全・サービス品質が向上することであり、基地機能として労使で合意してきた施策である。しかし現場では、入出区拡大の区所機能を変更する説明が行われており、施策の根幹に関わる重大な問題だと認識している。組合から説明を求めて説明するものではない。まずは労使議論を行うべきだ。

会社 当時の施策の考えや、基地機能を変更するものではない。あらためて説明する場を準備している。

組合 基本的な考えが変わらないのであれば、まずは説明すべきだ。前広に、信義誠実に向き合い、正々堂々とやるべきだ。

会社 施策の説明を全て行うことは難しいものがあり、判断も必要だ。今回、組合からの指摘を受けて説明すべきであったと思う。

組合 京浜施策におけるこれまでの議論経過について、運車部は受け止めるべきだ。労働条件に関わらないことでも、労使議論を行っていけばスムーズに進んでいくはずだ。

会社 風通しが良いということは、責任を持つことだ。

組合 これらも地本・支社間で真摯に議論を尽くしていくことだ。

JR東日本の最先端の東京支社として、主体をもつべきだ。

組合 新宿地区の助役会議において、講演者が国鉄改革とこれまでの労使関係を否定し、人間尊重企業として人間性に欠ける内容の話を行った。会社の認識を答えるべきだ。

会社 確認していないが、仮にそのような発言があればよろしくないことだ。

組合 会社として、しっかりと指導すべきだ。

**信義誠実に議論していくことを確認!**

**第1項は終了! その2へ続く**